



上海事務所

NCB 海外レポート

中国体験記 Vol.1

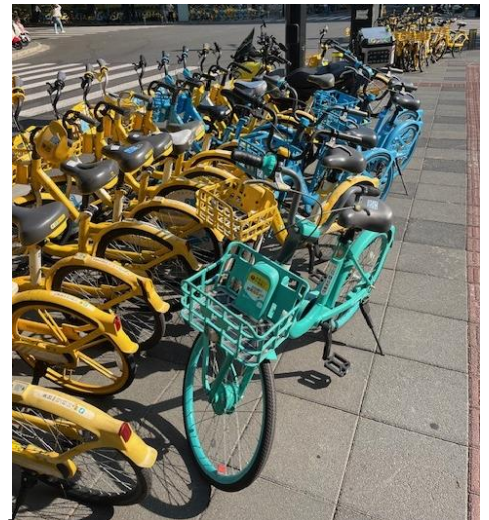
～レンタサイクル編～

◇ はじめに

- ・ ダージャーハウス 大家好（皆さん、こんにちは）！ 日本では、2026年4月から自転車運転者に対し交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）が適用されるようになりました。これに伴い、ここ最近、自転車に関するニュースを見聞きすることが増えた方も多いかと思います。
- ・ 中国ではかねてより、自転車が主要な交通手段として用いられており、近年は日本と同じく、レンタサイクルも普及しています。今回は中国におけるレンタサイクル事情をお伝えします。

◇ 中国レンタサイクル事情

- ・ 上海の街並みを歩いていると、街中のあちらこちらに黄色や水色といったカラフルな自転車が停められているのを目にします。これらはすべてレンタサイクルで、黄色の自転車は美团（Meituan）、水色が支付宝（Alipay）、緑色は滴滴（DiDi）という企業がそれぞれ展開しています。
- ・ 乗り方は非常に簡単で、スマホアプリでサドル中央にあるQRコードをスキャンし、必要情報を登録すると、ロックが解除されすぐに乗ることができます。
- ・ 日本のレンタサイクルとの違いは乗り捨てができる点です。返却ステーションがないため最初は戸惑うかもしれませんが、道路脇の駐輪スペースに停めてロックをかけると返却が完了します。
- ・ 初乗り料金わずか1元～1.5元（約23円～35円）、延長料金も低廉な価格設定となっており、市民の足として大変重宝されています。
- ・ 利用料金についてはWeChat Pay（微信支付）やAlipayといったスマホ決済サービスで支払い可能であり、手軽に利用できることから、近年急速に普及が進んでいます。



上海の路上に並ぶ色鮮やかな
レンタサイクル（当事務所撮影）

◇ レンタサイクル利用時の注意点

- ・ レンタサイクルは大変便利である一方、利用に当たってはいくつかの注意点があります。
- ・ はじめに、日本と異なり右側通行であることです。また、これらのレンタサイクルにはライトが付いていないことから、夜間の利用は避けた方が良いでしょう。
- ・ 加えて、中国では出力の低い電動バイクも自転車専用道路を走行するため、注意が必要です。かつ、これらのレンタサイクルには車両保険が付加されていないこともあるため、万が一、事故などに遭った場合は自身の海外旅行保険で対応する必要があります。

◇ まとめ

- ・ レンタサイクルは交通ルールを守って、安全に運転すれば非常に便利な乗り物です。レンタサイクルのある生活に慣れてしまうと、帰国時など、すぐにレンタサイクルに乗れない状況がもどかしく感じてしまうこともあります。
- ・ 自転車で街中を運転すると、街並みをより身近に感じる事が出来ます。皆さんも中国を訪れた際には交通ルールに気をつけて、レンタサイクルを体験してみたいはいかがでしょうか。

ザイチェン

再見（またお会いしましょう）！

2026年4月20日作成
西日本シティ銀行 上海駐在員事務所